

令和5年度 現職教育・研究推進計画

1 目的

教育専門職としての自覚を持ち、自らの資質の向上に資することを目的に、児童の人間力を育み、一人一人を生かす教育を推進するため、主体的に研修に努め、教育効果の向上を図る。

2 本年度の研究主題

算数科において、数学的に表現し、伝え合う児童の育成

3 主題設定の理由

これまでの国語科の取り組みの成果と課題を踏まえ、令和4年度より3年計画で「算数科において、数学的に表現し、伝え合う児童の育成」を研究主題とし、算数科を中心に研究を進めている。初年度である昨年度は、「課題を理解し、見通しを持たせること」と「数学的な表現（言葉・式・図・表・等）や算数用語の活用」に重点を置き、授業改善に取り組んだ。その結果、既習事項とつなげて自力解決の見通しを持ったり、課題解決方法の見通しを交流したりしながら、主体的に学ぼうとする姿が見られた。また、自力解決の過程で、言葉や式、図などを用いることや、まとめやふり返りに関して算数用語を活用することができつつある。

このような状況を踏まえ、2年目となる今年度は、昨年度取り組んだ「数学的な表現の活用」で培った力を基に、数学的な表現を用いて、自分の考えを表す力を身に付けることに重点を置き研究を進める。自分の考えを数学的な表現を用いて表すこと、それを身に付けることができるようにするための指導方法など具体的な手立てを考えることとする。

4 研究仮説

問題解決に向けて、見通しをもたせ、数学的な表現を用いて、自分の考えを表すことができれば、それを基に、互いに自分の考えを伝え合うことができるだろう。

5 研究の視点

- ① 課題を理解し、問題解決の見通しがもてる工夫がされているか。
- ② 数学的な表現を用いて自分の考えを表し、問題解決できる授業になっているか。

6 研究組織

研究推進部会

各ブロック（低・中・高）

学校長

学力テスト班

学力向上推進部

→

家庭学習・自主学习推進班

→

全体会

漢字博士試験班

7 年間計画

時期	1 学期	2 学期	3 学期
内容	現職教育計画の作成 （コミスク、特支、服務、幼小連携などを含む） 研究授業事前検討会 研究授業・協議 学力テスト分析 夏期研修 各部会1学期ふり返り・報告	研究授業事前検討会 研究授業・協議 伝達講習 学力テスト分析 部会	研究授業事前検討会 研究授業・協議 研究収録作成 各部会年間ふり返り・報告 次年度現職教育計画の検討

8 研究を支える活動

- ① 授業スタイルの統一（和歌山の教育 基礎基本3か条）
- ② 学級活動の充実
- ③ 岩小タイム（朝学 8：20～8：30）
- ④ 補充学習・終学
- ⑤ 漢字の博士試験（漢字博士強化週間 年3回）
- ⑥ 学力テスト分析
- ⑦ 家庭学習・自主学習の推進
- ⑧ 学習環境の整備・充実

9 年度末研究評価の視点

- ① 研究の視点は仮説を検証する手立てとなり、授業改善につながるものとなっていたか。
- ② 授業研究により、児童の変容が見られたか。